

7 | 協同組合日専連しもだて

SDGsを通じて地域に根差したまちづくりを実現し、新たな消費者層を獲得

住 所	〒308-0031 茨城県筑西市丙88		
U R L	https://nissenren-shimodate.com/		
設 立	昭和27年3月	主 な 業 種	衣服卸売業、写真機・時計・眼鏡小売業、スポーツ用品、がん具、娯楽用品、楽器小売業
組 合 員 数	18人	出 資 金	24,070千円

■背景・目的

街の商店は、商業環境の変化で消費者離れが加速。売上が減少した組合員店舗は組合脱退や廃業を選択するなど組合員は年々減少し、組合として新たな取組みが求められていた。そこで、組合活動とSDGsを紐づけ「日専連しもだてSDGs宣言」を行い、併せて、ホームページのリニューアルやチラシで情報発信を強化。組合の魅力や若い世代に発信することで組合の知名度向上と各個店の集客力増加を図り、地域に根差した持続可能な社会・まちづくりの実現を目指した。

■取組みの手法と内容

令和4年12月に「地域密着」「社会貢献」「社会課題解決」「環境」を柱に、地域に根差した持続可能な社会の実現を目指し、「日専連しもだてSDGs宣言」を行った。

組合と組合員の魅力ある活動を地域の人々に広めるため、予てより行っていた取組みをSDGsで掲げる17の目標と紐付けし、衣料品のリサイクルやリユース、多様性を尊重した制服の提案など地域密着だからこぞできるサービスを、環境や社会貢献に関心の高い世代をターゲットに、ホームページと約5,500人のフォロワーがいる組合のSNSで紹介した。またSNSのフォロワー以外の消費者層にもSDGsへの取組みを広く分かりやすく伝えるためチラシを作成し、組合が運営するカフェが入居している「しもだて地域交流センター アルテリオ」や市役所等にチラシを設置し、当組合の取組みを発信した。

宣言後、組合が運営する「カフェブリーズ」では「人から人へ応援プロジェクト」を立ち上げた。このプロジェクトでは、学生をサポートするために一般の利用者が200円で「ハートフルチケット」を購入し応援メッセージとともに掲示。学生は掲示されたチケットをドリンクと交換することができる。さらに学生向けに「カフェ勉」というサービスを開始し、ドリンクを半額で提供することで学生の利用が増加するなど、SDGs宣言で掲げた内容を念頭に組合事業を展開している。

■成果とその要因

SDGs宣言を通じ組合員の意識に変化が生まれ、カフェの取組みにつながった。「カフェブリーズ」にて行われた「人から人へ応援プロジェクト」は学生と地域住民の絆を深めるきっかけとなり、カフェの利用者が増加した。組合と組合員店舗の知名度が向上し、若い世代との継続的なコミュニケーションが確立されることで、地域の未来を担う新しい顧客層の獲得が期待できる。



SDGs宣言



カフェブリーズでの取組み



代表理事と事務局長、組合員の間に深い信頼関係が構築されていたため、新しいアイデアを提案しやすい環境が生まれ、組織全体としての意思決定が速く、実現に至った。